

7

# 口述ノ日本経済

(吉野直行先生の講義梗概) 2020.12.14

吉野先生の資料による要約

## 1. 世界各國のGDP

	名前	単位 \$ billion	人口 (人)
1位	米国	19.362 (100%)	59.495 (100%)
2位	中国	11.938 (61%)	8.583 (114%)
3位	日本	4.884 (25%)	32.550 (64%)
4位	ドイツ	3.652 (8%)	44.184 (74%)
5~6位	英仏	2.500~2.600 (10%)	38.000~39.000 (64%)

## 2. 世界の貿易額 (2016)

中国	13.4%	)	30.8%	日本市場
EU	12.8%			経済同盟
日本	4.6%			歴史
米国	12.2%			洋銀 - Silver

3. 中日の開拓埠は現在為替市場で操作できる  
 (開拓埠の開拓 - 为替を10%下げる)

### 日本の金融市場の自由化

- ① 資本移動の自由化について
- ② 貨幣の自由化管理について
- ③ 为替政策と経済成長化
- ④ 他のいいものの導入による政策
- ⑤ 为替政策

### 4. 定期金融資産の推移

	1995	2014	
米国	/	↓ 0%	) 投資信託の成長
英日	/	↑ 24%	---複利14%
日本	/	↑ 45%	---單利17%

✓) 運用力の差 投資信託

日本は売却して手数料をもつて終了

(2) 各国は、取引、損失を負担する形になります  
 経済、株式の上昇と連動します

(3) 危險な競争のため、経済の成長を取る。 (自己責任)  
 ——129

## 5. 高齢化と少子化、年金 ~6

(1) 1950年代末、平均50才で退職して

平均54才で死む

4年

1972年会計小計2.8%

(2) 現在、55才で退職して

平均77才で死む

20年

年金の持続化

## 6. 高齢化に対する金融政策の有効性低下

非高齢化社会 85才の高齢化率 2.5% (2号)  
高齢化社会 55才の高齢化率 7% (現状)

3年

高齢化社会 55才の高齢化率 7% (現状)  
高齢化社会 55才の高齢化率 7% (下位構造)

## 7. 高齢化と投資効果

行動の変遷

投資(株式)の減少

政策と株式の高齢化

## 10. 財政政策の効果

高齢化社会

0.5倍の投資効果

若々社会

1.5倍の投資効果 (未.12)

## 11. 高齢化への対策

(1) 生育率低下と後退化本系

(2) 年金取扱い、(少し)後退化本系下がる

## 12. 今インストラクション財政政策も高齢化の対応

高齢者口頭取扱い、費用負担比例強化

人手不足の緩和方針(?)

### 13. 及び金融政策

金融緩和政策 (及び金融政策)

14. 政府債務/GDP 比率 100% 過  
日本 230% 2-3倍 (GDP)  
米国 145%  
フランス 120%  
イギリス 115%.

財政の健全化方針

3年後 ✓  
5年後 ✓

17. 日本円債の保有者と比率

1年以内

外債人(所有)  
69.2%

日銀  
9.9%

BKSH  
20.4%

1年超

3.6

46.6

45.8

外債人(所有)  
外債の保有者  
外債の割合

全体

12.8%

43.2

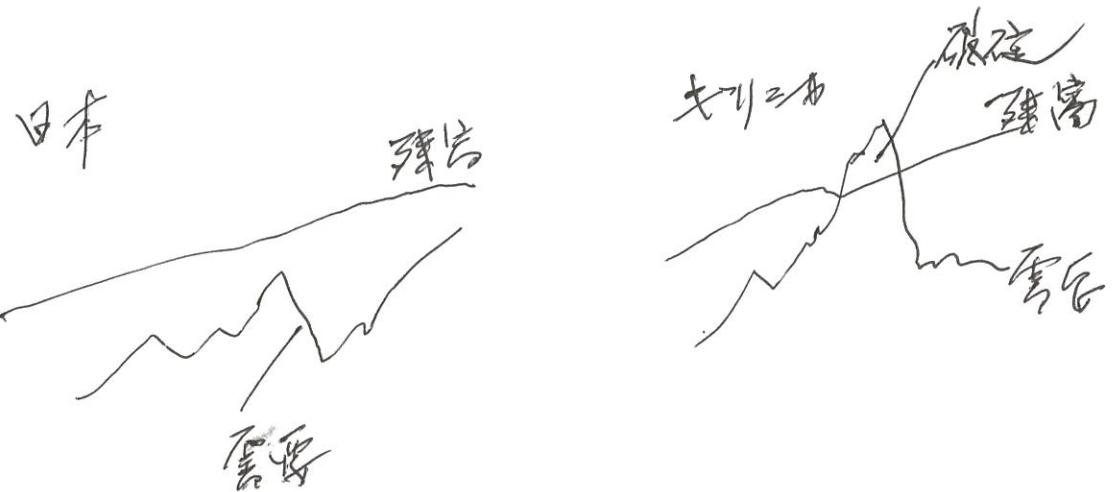
43.9

18. トーラー条件と財政の実態  
(PPIが世界平均5%未満)

利子率↑ > 経常赤字 → 不適切な政策

利子率↓ < 経常赤字 → 安定 (財政状況)?

## 19. 日本の需給構造を考慮した政策の検討



## 20. SDG 17 Goal

## ESG 3 Goal

自社(公)の取り組み

SDG 17 Goal

Environment

持続発展投資の選択が行われる

Social

ものに対する取扱い

Governance

組織、社会満足が無い

自社で育てる

現行のSDG投資の推進です。

持続発展選択選好可能性

環境規制の厳格化、あるいは環境税政策の実施が必要です  
（SDG評価の統一性の必要）

一部の企業がSDGの評価基準では高分ですが

環境規制の厳格化等による政策推進も必要である

（目標達成の強制）

28. 物価上昇率 (2009~2018)

アメリカ 3.3% / 年

日本 2.1% / 年

日本 2.0% / 年

29. 石油価格の下落

2008 146 \$/bbl

2009 40 "

2009 ~ 2011 50 ~ 80 "

2012 ~ 2014 115 "

2015 70 "

2016 26 "

50

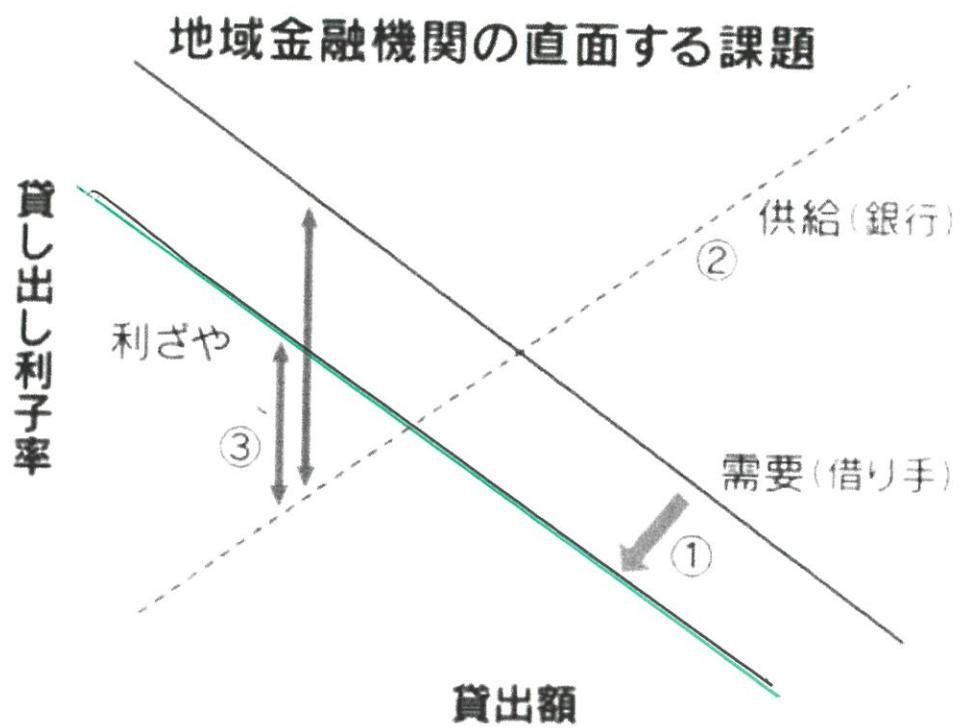
2017 60 "

33

# 経済 教室

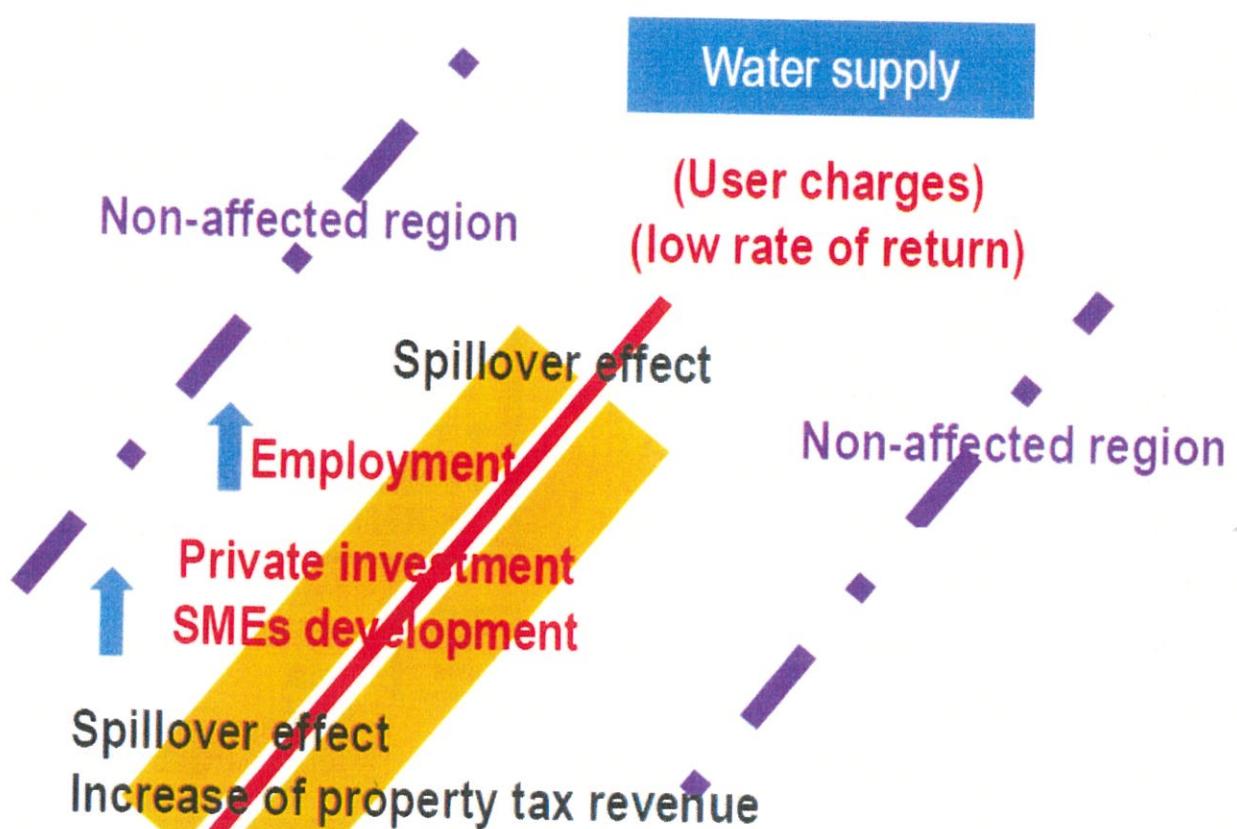
吉野  
直行

借り入れ需要減で再編だけでは存続困難  
資金需要の創出や起業促す取り組み必要  
ビッグデータ分析で企業の格付け可能に



- ① 地方の高齢化などの影響による借り入れ需要の減少により、借り手の需要曲線は左下にシフト
- ② 需要の減少にもかかわらず貸し出しの供給側の銀行数は変わらず
- ③ 銀行の利ざやは縮小

Figure 3.1. Spillover effects of water supply



区域間の排水化促進  
（BR）による効果

連携 行政の役割

## 34. スタートアップ企業

ふるさと投資方針

地域の企業は事業家、事業実施に力を貸す。

ふるさと投資方針の重要性とその実行の必要性。

以下に、地域経済の活性化を図るための環境変化

(東京アーバン近接、外因生态型農業、企業精神等)。注目

## 39. 土地信託

## 41. Sir Alan Walters 教授

Johns Hopkins 大学

財政の積累の必要性、共通通貨の成立を主張

英10月21日入院にて死X!!

## 42. ハーフルヒコロチ

ハーフルヒ、社会の上層部（土地、株式、古物など）への打击  
コロチ、社会の下層部へのインパクト  
今後社会をどうしていくか変形するのではない。



伝統儀式のピラミッド



庶民の層ヒラミット

デジタル格差、失業  
理想的デジタルを求める人

人材教育

## 43. リモトの発展について（人は集団、経験によって成長するのではなく）

人間の歴史の発展は、人の加集まりによって  
達成されたある。

文化、歴史、芸術、政治、制度…

これらといつて発展してきたものについては、

人は集まることで文明を築いてきた  
集中されることは、進歩をなしし、生きてゆけない  
人々の下集団の一種にすぎない

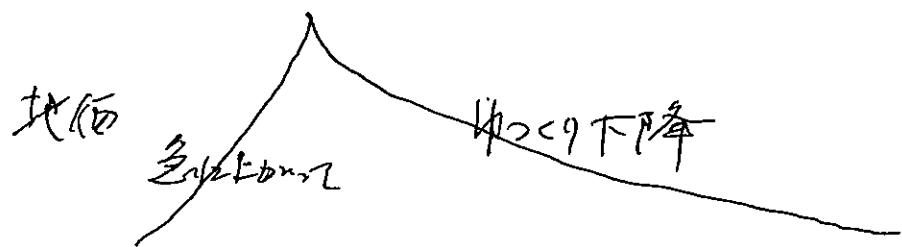
## 4. インフレは起きる

(1) インフレは、金利と地価の上昇と共に出現してきた

(2) 今も日本では、金利の上昇は起きない

(3) 土地、地価(1968年～20～30%の下落)  
(人口68%)

(4) 人口減少需要、田舎需要、オリンピック需要(東京)



○ 内需は常に金利と GDP を起す口唇

(世界一の高さ) になり、

社会は崩壊し、経済の信頼性が失われる

地価(価値)下落

、V110-インフレ

社会が崩壊を起す

3年後か、5年後か。

---

早めに

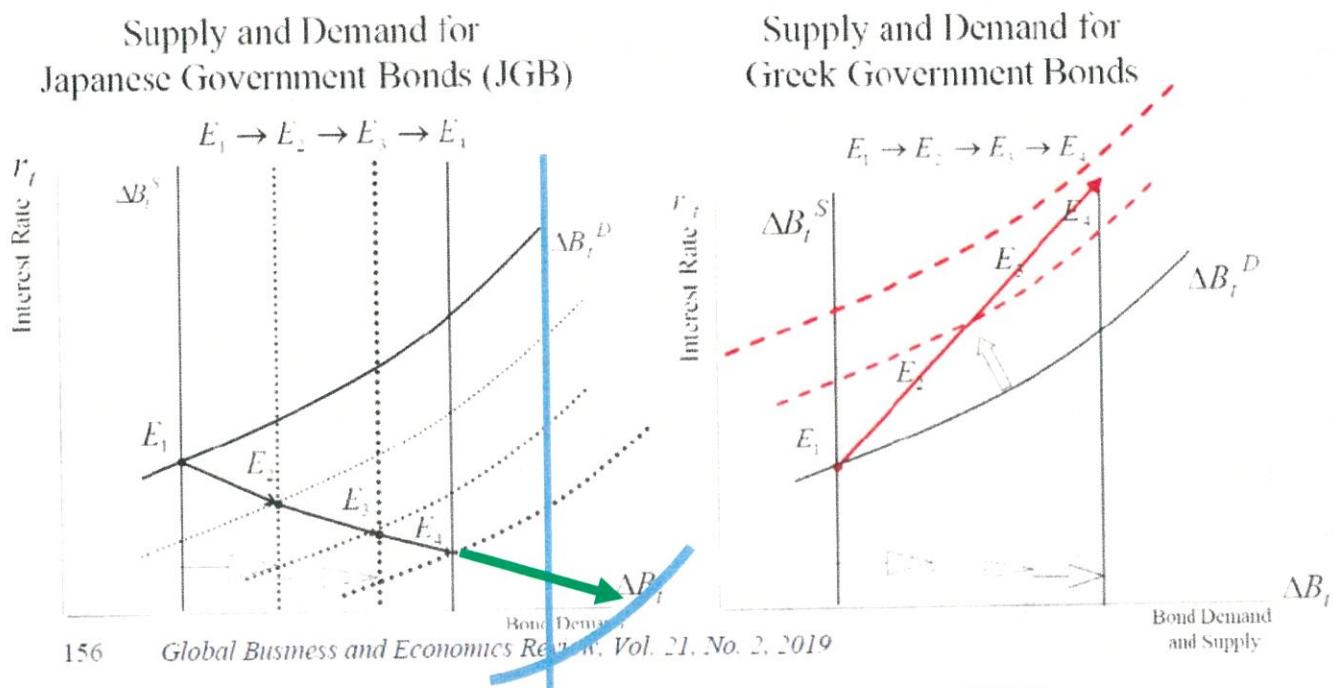
# 45. 日銀債務とマイナス金利

230%.

100%を超過するが、ギリシャ、アイスランド、イタリアなど

## マイナス金利政策のメカニズムと「日本/ギリシャ」の比較

**Figure 1** Government bond markets of Japan and Greece (see online version for colours)



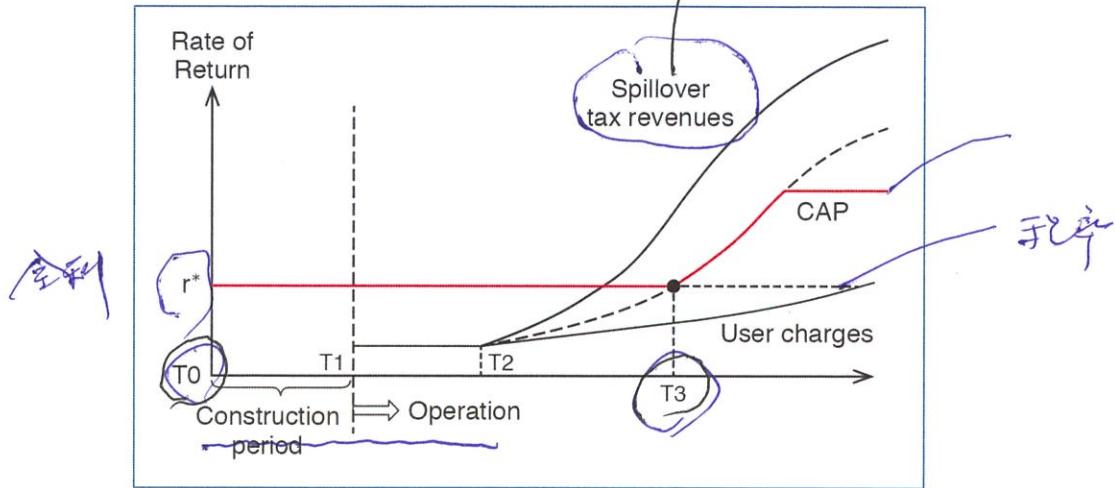
Optimal fiscal policy rule for achieving fiscal sustainability: the Japanese case **Yoshino-Mizoguchi-Hesary (2019)**

## 4.6. 長期的経済成長とデジタル教育

社会

- (1) 日本の生産性、効率性などを上げるために、  
社会全体の学習と改善する機会を増やす。
- (2) 企業間の競争化。デジタル化による  
デジタル化を進めるべきである。
- (3) デジタル化による機会均等化を図る  
多くの人が地方へ移住する傾向。
- (4) デジタル教育は全ての地域に直接に通じて、  
移動による失業率を下げる。  
帰郷しやすい。
- (5) オンラインはトヨタの講義が可能  
教師も学習し、復習する機会がある。
- (6) 中小企業の競争を促進することができる。

CHART 2  
**Floating government bonds reflecting spillover tax revenues**



Source: Compiled by the authors

インフラの維持/補修費は、使用料金（User Charges）と波及効果による税の増収(Spillover tax revenues)の還元分で、十分にカバーすることが出来るようになる。デジタルインフラから発生する税の増収分の一部（例えば50%）を、政府がインフラの事業者や投資家に分配したとしても、そのインフラによる税収増は、既存の税収に加わる追加の税収となって、政府に入ることになる。

図2に示されるデジタルインフラ債券は、デジタルネットワークの資金調達の一つのやり方であると考える。債券の利子率は、T0からT3までの間は、政府の通常の国債と同一金利（ $r^*$ ）が支払われる。この期間は、使用料金と（波及効果による）税収を加えても、通常の国債の金利（ $r^*$ ）を上回らないからである（図2）。

T3になると、使用者料金と税収増の還元分が、通常の政府債券の利子率（ $r^*$ ）を上回り、より高い利子が支払われるようになる。言い換えると、T0からT3期までデジタルインフラ債券は、通常の国債と同率に固定される（= $r^*$ ）。図2では、税の増収全体の50%が、インフラ事業者と投資家に還元されると想定している。すなわち、政府と民間部門は、インフラの波及効果により発生する税の増加分を半々で分けると想定している（「税の波及収入を使って水の供給と内陸の水上輸送に民間資金を導入」吉野直行著、「メコン地域の水インフラ開発のためのイノベーション」、第3章、OECD、2020年）。

政府は、デジタルインフラの債券の収益率に“上限(CAP)”を課すことも出来る。上限(CAP)を超える余剰分の税の増収は、建設費（T0期—T1期）、維持補修費等の費用を補償するために政府の準備金、あるいは、台風や地震災害への備えのための準備金として蓄えておくことができる。このようなデジタルインフラ債券では、デジタルインフラを整備しようとする企業が、収入として受け取ることのできる波及効果による税収増を、なるべく増やすようと努力するため、地域開発を進めて行こうとする誘因を与えることになる。地域の発展により、税収還元分が増えれば、インターネットの使用料金を低く抑える効果もある。使用料金が下がれば、デジタルインフラ（ブロードバンドなど）の使用者を拡大することにもつながる。

## 5

# Amazon Effect

アマゾンエフェクト 鈴木康弘著  
プレジデント社

2020.12.14

2020.11.30

2020.10.03

2020.09.28

1. あらゆるものがインターネットに接続され、情報交換する IoT がもたらすビッグデータを、AI を活用して効果的に分析し、最適なソリューションを追及する—そういう発想を忘れない



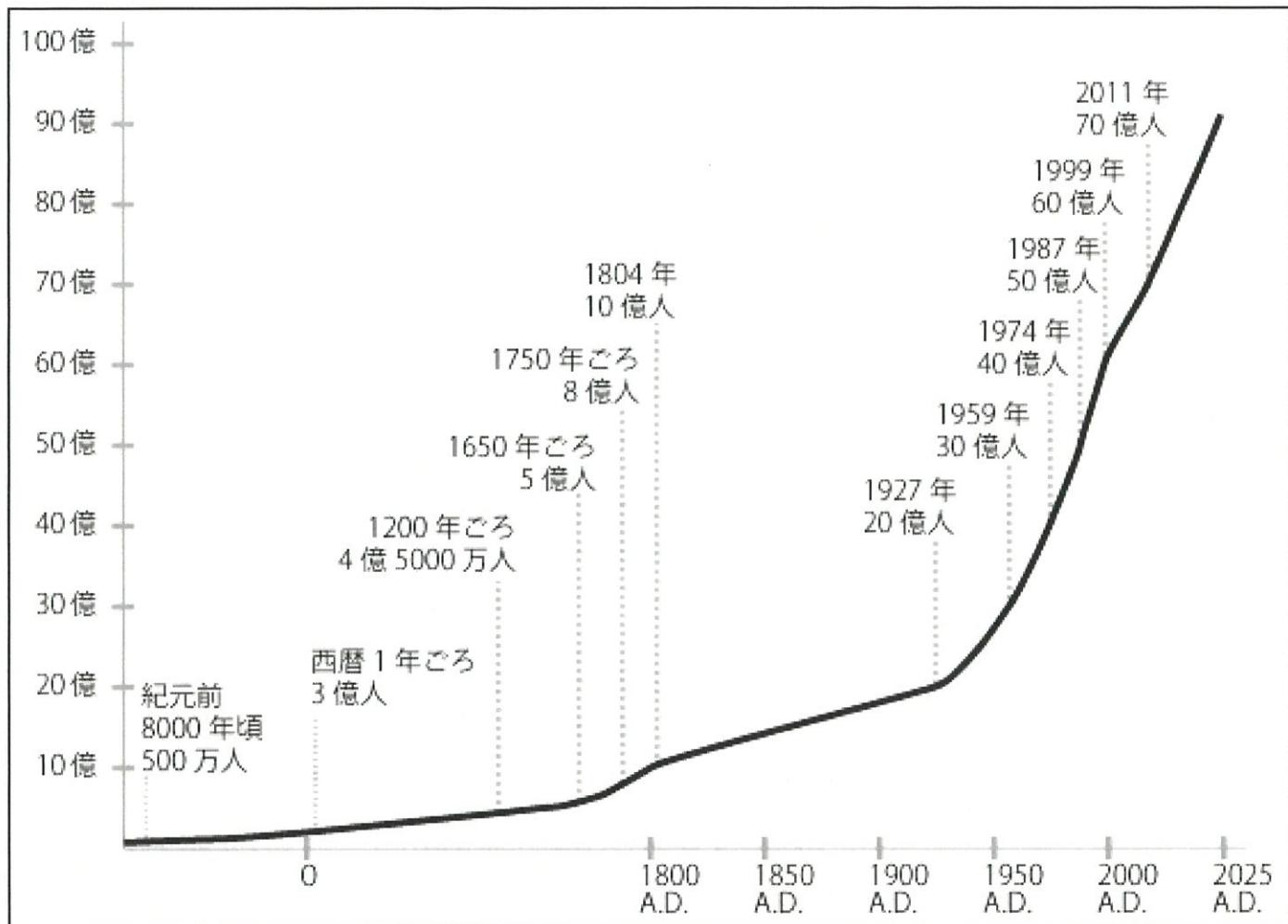
2. 今後更に技術的にも発展してゆくであろうクラウドがその一連の処理を高速かつ安全に支える
3. 社会の大きな変化、そして、同時進行で進む IT の劇的進化が何をもたらすか

次々とビジネスチャンスが生まれる



新しいチャンス

IT を活用した生産性の向上  
画期的な業務改善



国連人口基金東京事務所

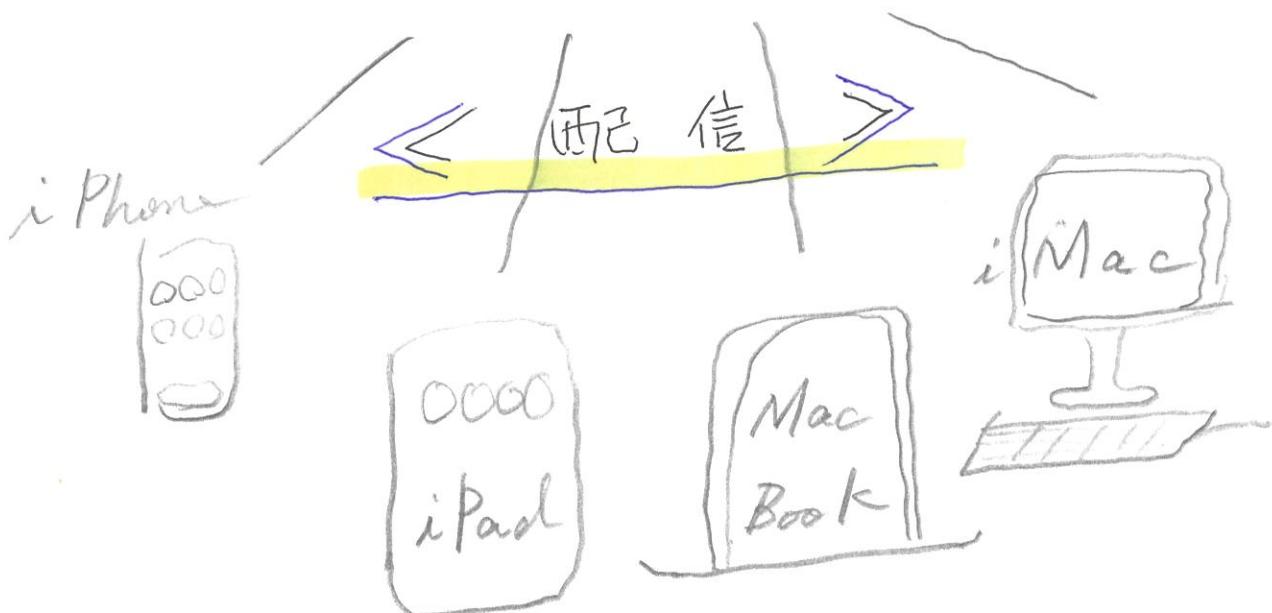
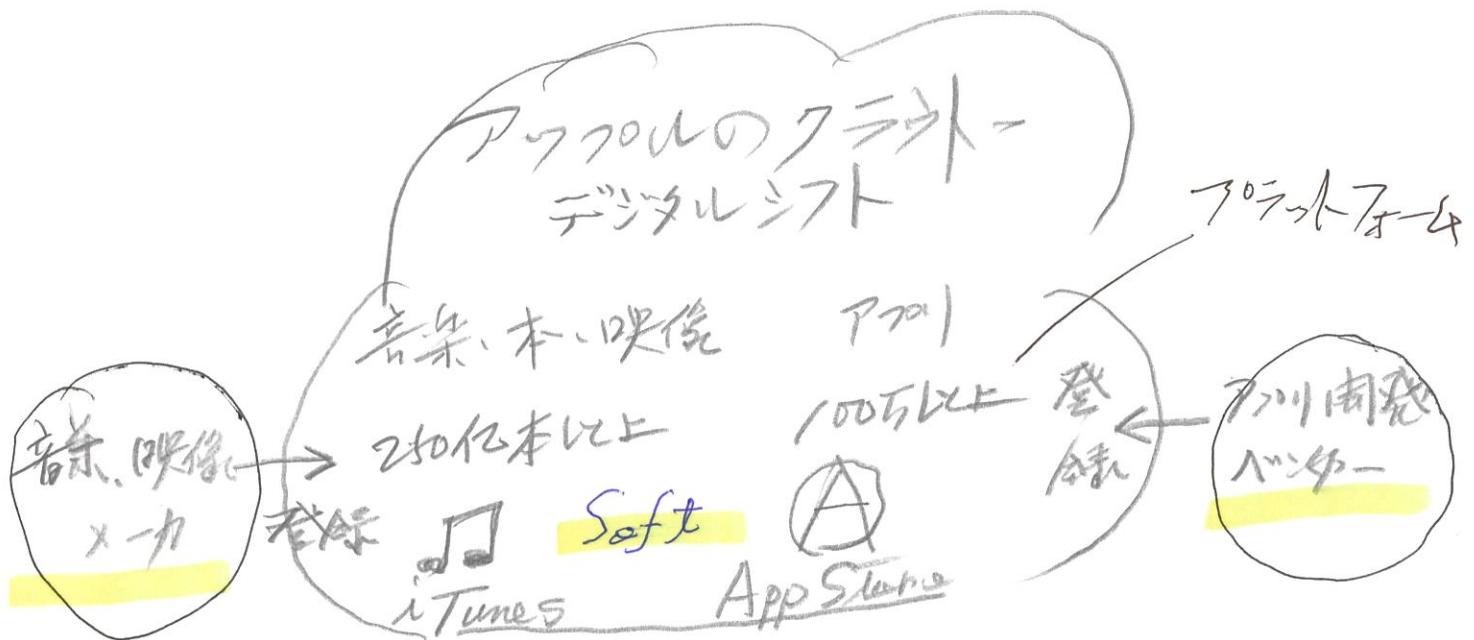
(PDFファイル)世界人口白書 2011

Population Today, February 1995

2011-08-05: catcatcat blog

Columbine High School Massacre

1万年前から18世紀までのデータはUNITED NATIONS POPULATION INFORMATION NETWORK (POPIN)の1995年のデータを参照にしました。



デジタル化シフト

顧客の情報を集める体制

アーティストの展開

クラウド上の 音楽やアーティストの登録の進展

アーティスト商品の各会社・メーカーの商品登録

イトヨーカ堂 創業者

ウィキペディア

# ブルー・オーシャン戦略

/ レッド・オーシャン戦略

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

ブルー・オーシャン戦略（ブルー・オーシャンせんりやく、英: blue ocean strategy）とは、INSEAD（欧州経営大学院）教授のW・チャン・キムとレネ・モボルニュが著したビジネス書、およびその中で述べられている経営戦略論である。日本語版はランダムハウス講談社から2005年に刊行されている。

## 目次

- [概念](#)
- [事例](#)
- [脚注](#)
- [関連項目](#)
- [外部リンク](#)

→ 洋語のため X 2/2 ✓

## 概念

競争の激しい既存市場を「レッド・オーシャン（赤い海、血で血を洗う競争の激しい領域）」とし、競争のない未開拓市場である「ブルー・オーシャン（青い海、競合相手のいない領域）」を切り開くべきだと説いている。そのためには、自分の業界における一般的な機能のうち、何かを「減らす」「取り除く」、その上で特定の機能を「増やす」、あるいは新たに「付け加える」ことにより、それまでなかった企業と顧客の両方に対する価値を向上させる「バリューアイノベーション」が必要だと主張している。そのための具体的な分析ツールとして、「戦略キャンバス」などを提示している。

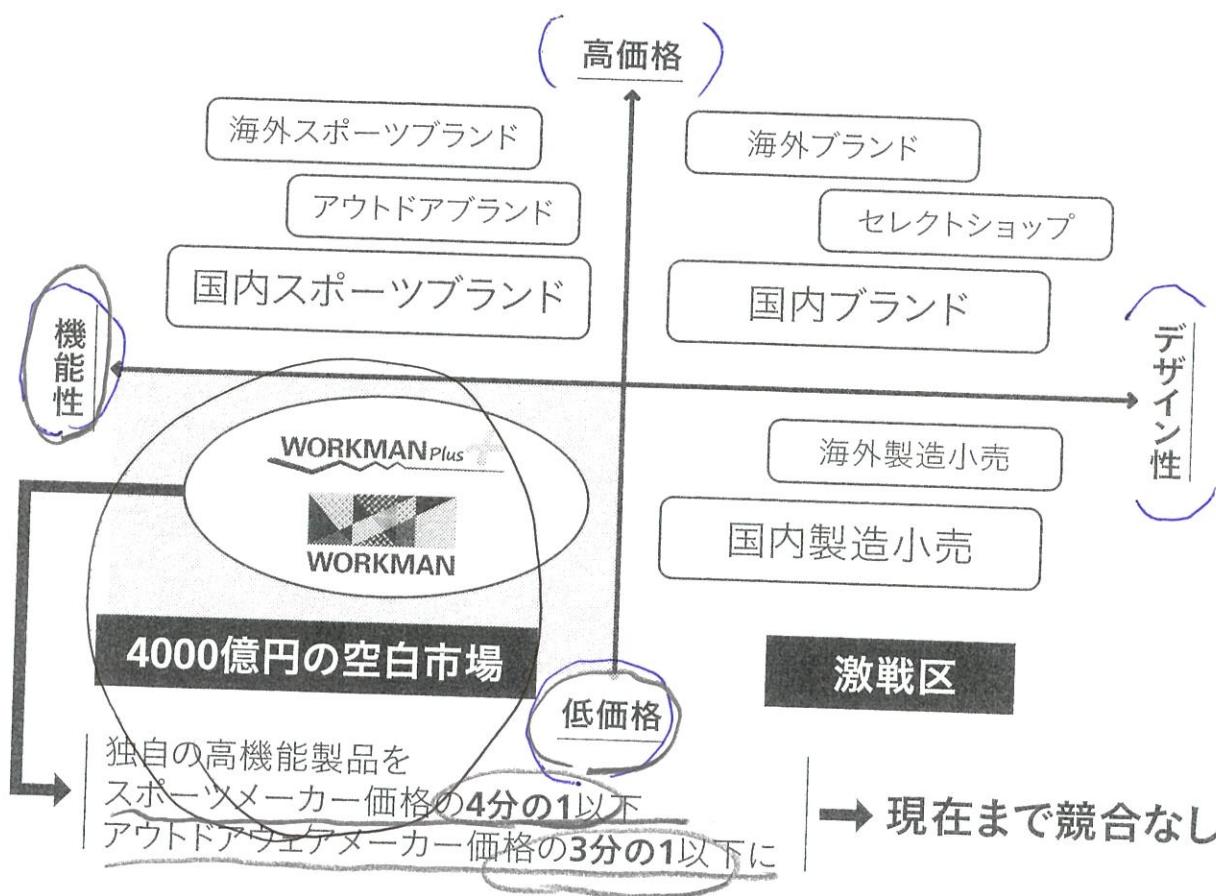
従来からよく知られているマイケル・ポーターの競争戦略は「事業が成功するためには低価格戦略か差別化（高付加価値）戦略のいずれかを選択する必要がある」と主張しているが、ブルー・オーシャン戦略では「『減らす』『取り除く』ことによる低コスト化と『増やす』『付け加える』ことによる顧客にとっての高付加価値は両立し得る」と主張している。

## 事例

書籍では、旧態依然のサーカスから脱却したシルク・ドゥ・ソレイユ、日本の10分1000円のカット店（QBハウス）、ワインを飲まない層を開拓したオーストラリアワインのイエローテイル、機能を絞り携帯電話とネットサービスを結びつけ独占的なサービスに成功したNTTドコモのiモード、米国の海軍、空軍、海兵隊の要望を統合して量産化と低コスト化を図ったF-35、などの事例などが紹介されている。

韓国サムスングループは組織的にブルー・オーシャン戦略を実践していることが知られている。ゲーム業界において、ソニー・コンピュータエンタテインメント（PlayStation 3）やマイクロソフト（Xbox 360）が仕掛けた高性能化競争に埋没しかけていた任天堂は、Wiiの開発にブルー・オーシャン

図7 | アパレル市場マップ



この市場規模はどれくらいか。

フランスにデカトロンというワーカマンと似た低価格が売りの会社がある。デカトロンのフランス国内の売上を、日本の人口比で計算すると**4000億円**近くあることがわかった。

2020年3月期のワーカマンのアウトドアウェアの売上が約400億円だから市場の10%となる。低価格アウトドアウェアの市場規模は1000億円くらいと予想していたが、実際には、4000億円の「隙間とは言えない規模の市場」だった（知っていたら、自社の実力と市場規模のギャップを考え、参入を躊躇<sup>ちゅうちょ</sup>した可能がある）。

ソフトバンクグループの孫正義会長兼<sup>そんまさよし</sup>

著者著  
「スクランチしないで生きる」

マーケティングであれ、新規事業展開であれ、市場を細分化し、どこをターゲットとするかという選択は、重要な戦略的意思決定になる。

最初に思ったのは、ワークマンは「しない会社」だということだ。

経営戦略の古典として名高い『新訂 競争の戦略』（土岐坤・中辻萬治・服部照夫訳、ダイヤモンド社、1995年）で「ファイブフォース分析」を提唱したマイケル・E・ポーターは、「戦略とは捨てる」と言つた。

経営資源には限りがあるため、何かを選んだら何かを捨てなくてはならない。

私は「ファイブフォース」でワークマンの強みを客観的に分析した。

- 1 作業服市場に業界外からの新規参入の脅威はほとんどない
- 2 作業服の買い手の交渉力は個人なので法人ほど強くない
- 3 作業服の代替品の脅威はほとんどない
- 4 作業服の供給者（売り手）の交渉力はワークマンに比べて強くない
- 5 作業服市場では個人向け製品の競争がほとんどない

このように「ファイブフォース」をすべて満たす企業はまれだ。とりわけ業界内の競争

土岐 坤

「ワークマン」しない方法から

アレックス

近野晃一郎先生

2020-11-16

# 1. 持つことの危険・川口とアラト

△→△×△+Y=△Y

△→△×△+Y=△Y  
△→△×△+Y=△Y

↓  
△→△×△+Y=△Y

△→△×△+Y=△Y  
△→△×△+Y=△Y

△→△×△+Y=△Y

# 2. 持つことの危険と捨てる決断

△→△×△+Y=△Y

△→△×△+Y=△Y

# 3. 巨大な川と川の出現

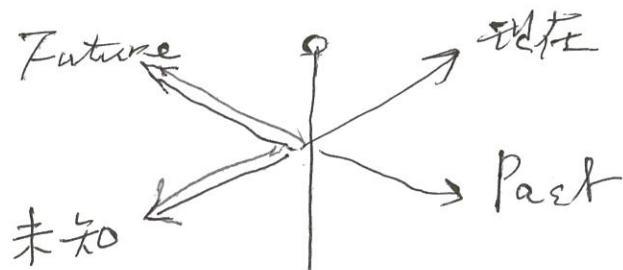
△→△×△+Y=△Y

## 6. 72-73年 政局評議會の事実

- ① 1-升ル生点を統率する 従事者たる  
後援団体等
- ② このことを、とにかく拉致事件の問題一秀
- ③ 選舉に 建川吉郎
- ④ 小笠原作 民主派に支持
- ⑤ 情報掌握は大手である (ロイター等) は日本で最も多く
- ⑥ 暗事を仰がれて 吉田茂
- ⑦ 世論が主導的 情報掌握は大手である
- ⑧ 情報の一元化 吉田茂 延長
- ⑨ 7-78年迄 直接に任事務所
- ⑩ 吉田茂の政治手腕

# デジタルシフト

## 大きな変える社会とIT



VUCA World 軍事用語

Volatility 変動性  
変化が非常に早い

Complexity 複雑性  
複雑化する世界

Uncertainty 不確実性  
未来が予測できない

Ambiguity あいまい性  
何が何인지わからず

更に進む ~~(VUCA -> AI)~~ ~~AI技術~~

人口減少、資源不足

保護主義の台頭

周期的  
技術の劇的進化

テクノロジーの発展

AI/IoTによる仕事の変化

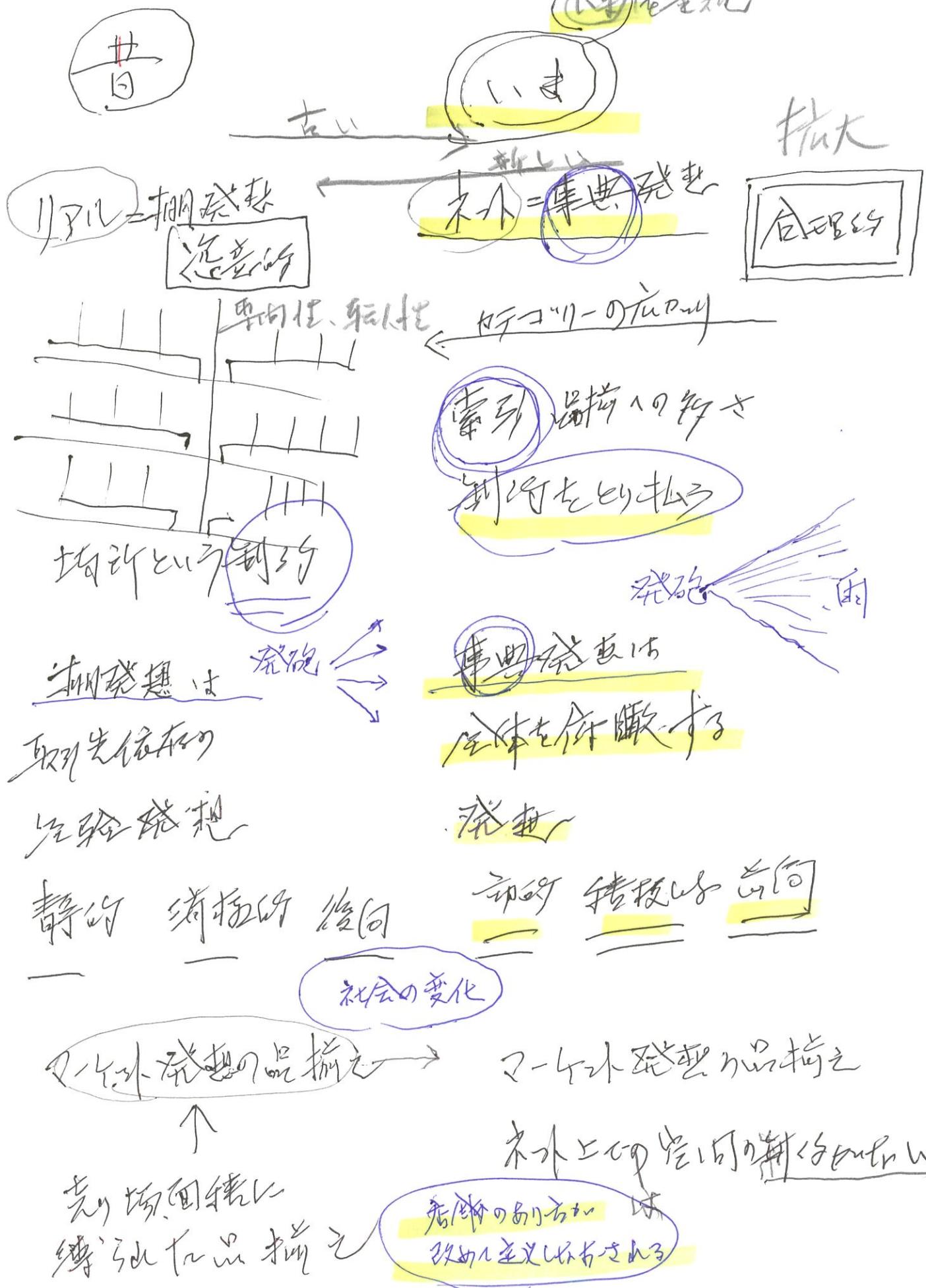
デジタルシフト

デジタルによって複数の人の行動や行動、データ把握、放送によるデータ分析

Data Driven  
データdriven

## いまの激進の歴史

### 思想の変化 (西洋思想)



アズマ

## 12 IT活用はカスター・アースト（日米の差）

矢吹り本店

開拓地IT戦略の出し

IT技術者がPDA等で使う

新しいビジネスを立ち上げる

会社の成長



攻めのIT投資

アズマ本

## 社長の半数をIT技術者かうめる

変換のルール Y-ト PIPS → Excel

乗り遅れる!! ↑ ↑

古い走をくじたる!!

止める

止める

止める

捨てる

決算会計

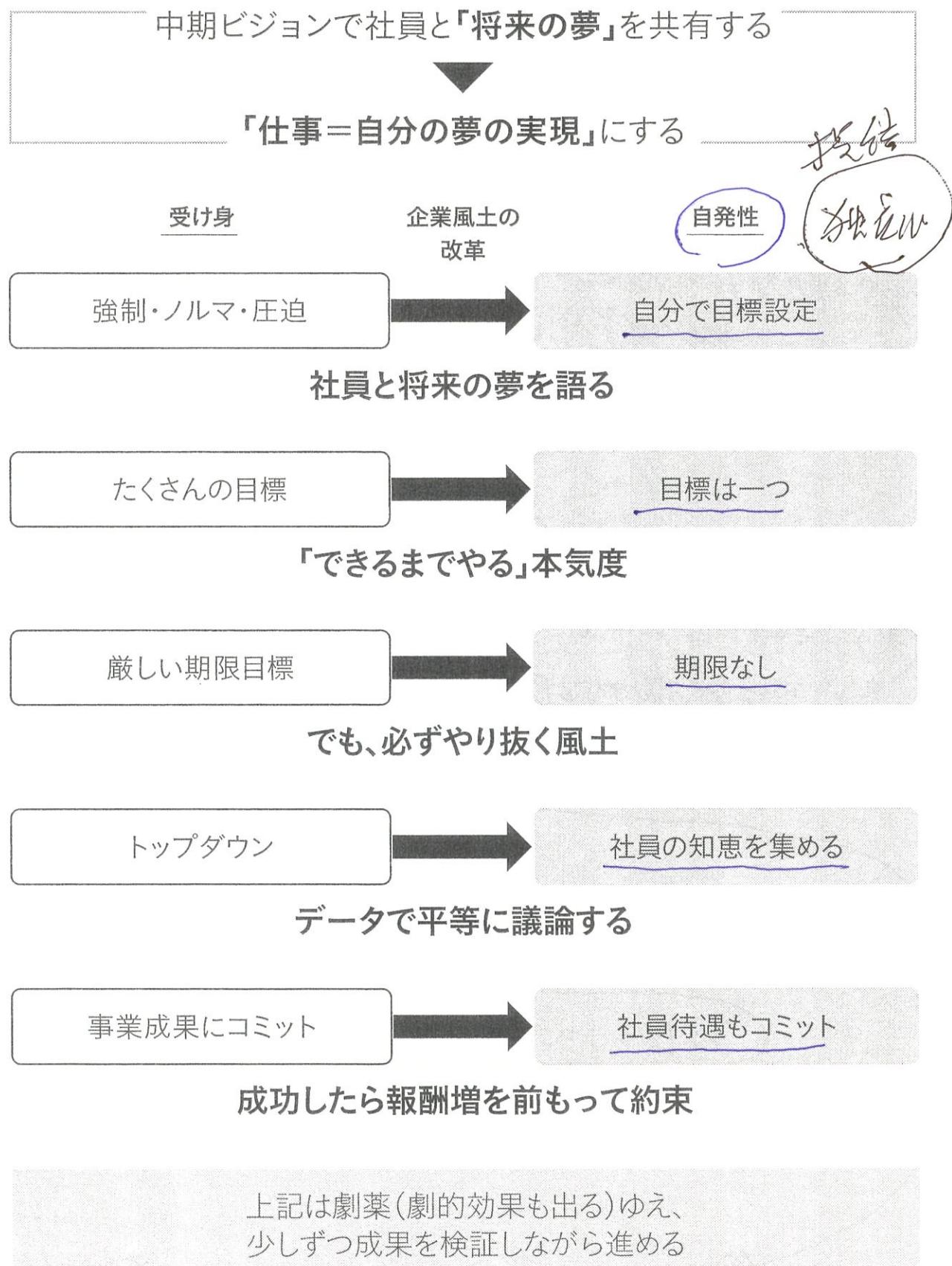
2000人以上の技術者を抱えてアズマ本对抗



経営者の視覚の重要性

レガシー IT時代問題

図26 | 新規事業で社員のやる気を引き出すシート



土産物を譲る

「ワーケンズ」 しゃべり経営から

## 「会社を経営する」とは「未来に投資する」こと

会社の目的と使命は、会社組織として事業を通じて永続的に存続、成長し続けること。すなわち「ゴーイングコンサーン（継続企業）」であることが大前提であるといわれます。

では、そのような会社であり続けるための経営者の役割とは、一体何でしょうか。

適切な意思決定を下し、会社をより成長する方向に導くこと。言葉は違えど、そんな答えを多くの人人がイメージするのではないでしょか。

では、意思決定とは具体的には何か。それは未来への投資の意思決定のことなのです。

事業において、何かを選択する（あるいはしない）とは、すべて事業という「投資」の選択です。しかし、本当の「未来の成長のために投資する」という意味は、その前提となる経営者の思いが入ったビジョンと具体的構想があつて初めて初めて投資という概念が成り立っているのです。それがなければ単なる支出であり支払いになります。投資とは将来に明確な実現したい事業があつて、そこから生み出される利益をキャッシュベースで回収することなのです。

# 指数、対数

12-1の月々返済額

利率トマ

① A円を12ヶ月受けたときの元利合計

② 利率トマ月々 X円がつ返済したときの

nヶ月後の元利合計の返済額 X

$$X + X(1+r) + X(1+r)^2 + \dots + X(1+r)^{n-1}$$

$$X = \frac{X \{(1+r)^n - 1\}}{r} = \frac{X \{(1+r)^n - 1\}}{r}$$

$$\begin{aligned} & 2020.12.14 \\ & 2020.11.30 \\ & 2020.09.23 \\ & 2020.05.25 \\ & 2020.01.13 \end{aligned}$$

Date

$$\begin{aligned} & 2020.02.24 \\ & 2020.10.19 \end{aligned}$$

$$X = A(1+r)^n \quad ①$$

$$= Ax^r \quad n \times n$$

$$\left( \frac{X \{(1+r)^n - 1\}}{r} \right) \quad ②$$

$$2P5. \quad ① = ② \text{ となり。} \quad \therefore -$$

$$① A(1+r)^n = ② \frac{X \{(1+r)^n - 1\}}{r}$$

$$A = 1,000,000 \quad r = 0.02 \quad n = 30 \quad \sqrt[3]{3} \approx$$

月利

$$1,000,000 (1+0.02)^{30} = \frac{X \{(1+0.02)^{30} - 1\}}{0.02}$$

$$1811.362 = \frac{X (1.02^{30} - 1)}{0.02}$$

$$X = 1811.362 \times 0.02 / (1.02^{30} - 1)$$

$$= 44,149 \text{ 円} \approx 45,000$$

# 対数 logarithm

正の数  $a$  と  $N$  が与えられたとき、

$N = a^b$  という関係を満足する実数  $b$  の  
値を、 $a$  を底とする  $N$  の対数 といふ。

$b = \log_a N$  と表わす。

$N$  は  $b$  の真根という。

特に  $\ell = 2.71828\cdots$  を底とする対数を自然対数といふ。

対数を用いて、桁数の多い乗法・乗除を加減法で  
行うこととする。

二つの数  $x$  と  $y$  の間に  $x = a^y$  の関係があるとき、

$a$  の指數  $y$  を  $a$  を底とする  $x$  の対数といふ。

$y = \log_a x$  と表わす

$\log_2 8$  は、最初の累乗まで 18 通り。最後まで 1 通り 2 倍で  
x の値が増えること、最初の 8 通りは 2 の倍数。

$$2^3 = 8 \quad \log_2 8 = \log_2 2^3 = 3 + 0.3$$

一般に、次の関係が成り立つ。

$$\underline{a \log_a b = b}$$

これを、右辺を左辺に変形することとし、左辺を  
底の対数の何乗かで表せるといふ。

たとえば、

$$6 = 7 \log_7 b, \quad 3 = \log_e b, \quad a = \log_e^a b$$

また、 $\log_a a^n = n$ を組み合わせて、

左辺を倍数の因数、底を乗算す  
倍数の因数とする

$$2^3 = (5 \log_5 2)^3 = 5^3 \log_5^3 2$$

$$a^x = (e \log_e a)^x = e^{x \log_e a}$$

## 元利合計の計算

段階状の元利合計  $1 + \alpha$   
 「ある期間」後には  $\alpha$  の利とかかる

連続状の元利合計  $(1 + \frac{\beta}{k})^k$   
 「ある期間」を  $k$  等分し、そこから  
 $\beta/k$  の利率で利息をつけてから複利計算  
 していくと、ある期間後の元利合計は、↑

$$\alpha \text{ と } \beta \text{ の関係は} \quad 1 + \alpha = \left(1 + \frac{\beta}{k}\right)^k$$

$$\text{そして、} k \text{ を } \infty \text{ に近づいた極限は、} \lim \left(1 + \frac{\beta}{k}\right)^k = e^\beta$$

$$\text{従々、} \alpha \text{ と } \beta \text{ の関係は、} \quad 1 + \alpha = e^\beta \\ \therefore \alpha = e^\beta - 1$$

この関係を  $x$  期間後の元利合計の式、  $y = A(1 + \alpha)^x$   
 代入すると

$$\begin{aligned} &\text{細胞のつぶれ連続的増殖モデル式、} \quad y = A(1 + e^\beta - 1)^x \\ &= A(e^\beta)^x \\ &= Ae^{\beta x} \\ &\text{したがって、連続的増殖していく結果式は、} \\ &\text{X期間後の量を表す関数の形となる。} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} y &= X\text{期間後の元利合計、指数} \\ A &= \text{元金、最初の値、スタート時量} \\ t &= \text{指標時間} \\ \beta &= \text{利率、増加率} \\ x &= \text{期間} \quad \text{+ 分子} \\ &= Ae^{\beta t} \end{aligned}$$

$$Y = x^x \text{ の微分}$$

(対数微分法  
2020.2.22)

対数をとること (log を使う) 微分する

$$\log y = x \log x \quad (\text{底 } e)$$

$x$  の微分  $\frac{d}{dx}$

(左辺)

$$\frac{d}{dx} \log y$$

$$\log y \text{ を微分} \quad \frac{dy}{dx} \text{ を入る}$$

$$\frac{d}{dy} \log y \frac{dy}{dx}$$

(右辺)

$$= \frac{d}{dx} x \log x$$

$$\text{積の微分公式} \\ (x \log x + x(\log x)')$$

$$= \log x + \frac{x \cdot 1}{x}$$

$$\frac{1}{y} \times x' = \frac{y'}{y}$$

$$= \log x + 1$$

①

左辺の

②の結果

$$x' = x^x (\log x + 1)$$

$$\frac{1}{y} = \frac{1}{x^x} \rightarrow y = x^x \text{ 両辺に } y \text{ を乘じる}$$

対数法則、積の微分公式、商の微分公式 を使う

$$y = a^x \quad \text{--- ①} \quad \text{の導関数を求める}$$

両辺の自然対数をとると

$$\log_e y = x \log_e a \quad \text{となり、両辺を微分する}$$

(1) ここで 左辺  $\log_e y = u$  とき、

$$\log_e y' = \frac{d}{dx} \log_e y = \frac{d}{dy} \log_e y \cdot \frac{dy}{dx} = \frac{1}{y} \cdot y' = \frac{y'}{y} \text{ とき}$$

左辺は  $(\log_e y)' = \frac{y'}{y}$  とき

(2) 右辺は、 $(x \log_e a)' = \underline{\log_e a}$

$$x \rightarrow 1$$

(3) (1), (2) のとき  
 $\frac{y'}{y} = \log_e a \quad y' = y \underline{\log_e a} \quad \text{--- ② とき}$

(4) ①  $y = a^x$  から ② は

$$y' = a^x \underline{\log_e a}$$

(5)  $y = e^x$  のとき  $y' = e^x \cdot \underline{\log_e e} = e^x \cdot 1 = e^x$

①  $y = a^x \rightarrow y' = a^x \log_e a$

②  $y = e^x \rightarrow y' = e^x$

③  $y = \log_a x \rightarrow y' = \frac{1}{x \log_e a}$

④  $y = \log_e x \rightarrow y' = \frac{1}{x}$

## 指数関数 $y = a^x$ の微分公式の導出

任意の  $a > 0$  に対し  $y = a^x$  の導関数は  $y' = a^x \log a$

(証明)

$$\text{左端} y' = \log a \cdot x \cdot a^x$$

一般の指数関数  $a^x$  を、既知の指数関数  $e^x$  に差し替えて導く

(1) 定義に基づいて証明

$$a^x \text{ の導関数は } \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^{x+h} - a^x}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} a^x (a^h - 1)$$

$$= a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{h}$$

(証明)

$$\therefore e^x, a^h = e^{\log a^h} \text{ とき, 上式は } \frac{a^h - 1}{h} \rightarrow \frac{\log a^h}{h}$$

$$a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{\log a^h} \cdot \frac{\log a^h}{h} = a^x \cdot 1 \cdot \log a$$

? (証明  $\lim_{t \rightarrow 0} \frac{e^t - 1}{t} = 1$  は  $\frac{e^h - 1}{h} \rightarrow \frac{\log a^h}{h} = \log a$ )

(2) 対数微分法による証明

$$y = a^x \text{ の対数を取る} : \log y = x \log a$$

$$\text{両辺を微分} : \frac{y'}{y} = \log a \Rightarrow y' = y \log a$$

$$\therefore y' = y \log a = a^x \log a = \log a \cdot a^x$$

## 2. 減衰関数

### (1) 自然減衰関数

ある期間ごとに、 $\alpha$ の率で減衰すると

次期初後の残高は

初期の値/回

単利の場合

$$y = A(1-\alpha x)$$

$$A(1+\alpha x)$$

複利の場合

$$y = A(1-\alpha)^x$$

$$A(1+\alpha)^x$$

$$20 = 105(1-x)^4$$

ポートのオールを漸ぐりを始めると、

$$20 = 105(1-0.04x)^4$$

ポートの速度は、そのときのポートの速度に比例して  
(複利的に) 減少する。

$$(19.693)$$

不一致?

ある物体に附着している放射性物質を量

その物体で誕生した他の半衰で減少する

連続的に複利で減少する現象

$$y = Ae^{-at}$$

ある期間を  $K$  等分して、これを  $a/K$  の率で減額していくが、

ある期間後には  $1$  の元金が、

$$20 = 105 e^{-0.04 \times 41}$$

$$\left(1 - \frac{a}{K}\right)^K \approx 1 - \frac{a}{K} \quad (20.367)$$

ステップ的に減少した数は等しい  $\frac{a}{K} \times 41 = 16.305$  と  $a$  の  $1/a$

$$1 - \alpha = \left(1 - \frac{a}{K}\right)^K \text{ の } 1/a \text{ の近似式。}$$

(2) 指述的成長と同様に

$$\lim_{k \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{a}{k}\right)^k = e^{-a} \text{ が得られます。}$$

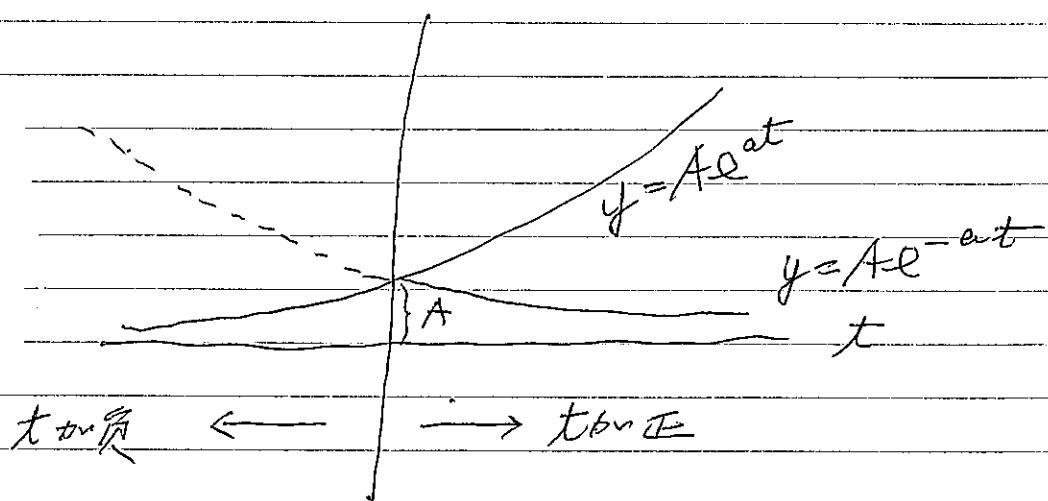
$$1 - a = e^{-a} \text{ が得られます。}$$

このを前提の

$$y = A(1-a)^x \text{ は成り立つ。}$$

$$y = A(e^{-a})^x = Ae^{-ax} \text{ が得られます。}$$

連続的複利成長を時間の式で得ました。



(X) 手口二年 210 日 増倍

2 の倍成 10 日後は  $0.95 g$  と表す

手口二年の半減期 1t.

$$y = e^{-at}$$

$y \cdots g$

$t \cdots 日$

$a \cdots \text{減少量}$

$$0.95 = e^{-ax/10}$$

$$e^{-ax/10} = 0.95 \quad 12\pi > t > 13\pi \quad x/1t = 8 \quad 0.05 \approx 1$$

$$ax/10 = 0.05$$

$$a = 0.005$$

$$0.5 = e^{-0.005t}$$

$$e^{-0.005t} = 0.5 \quad 13\pi > t > 12\pi \quad t = 0.69$$

$$0.005t = 0.69$$

$$t = 138 (\text{日})$$

(5) 連続的に複利で減衰する現象は、

$$y = A e^{-at}$$

ただし、 $A$ は  $t=0$  のときの  $y$  の値

後で  $A$  と  $a$  の関係を求める。

$$\frac{1}{2}A = A e^{-at}$$

$$\therefore 0.5 = e^{-at}$$

ここでこの日

$$at = 0.69$$

これを半減期を  $T_h$  とする

$$aT_h = 0.69$$

$$T_h = \frac{0.69}{a} \text{ となります。}$$

$$aT_h \approx 226 \text{ です。} 0.00043$$

$$aT_h \approx 210 \text{ です。} 0.0057 \text{ より } T_h \approx 36 \text{ k.}$$

対数の性格によって定義されています。

## (6) 平均寿命

平均寿命を  $T_m$  とすると

$$\alpha T_m = 1$$

$$\therefore T_m = \frac{1}{\alpha}$$

$$\text{半減期 } T_h = \frac{0.69}{\alpha} = 0.69 T_m$$

$$\text{平均寿命 } T_m = \frac{1}{\alpha} = 1.45 T_h$$

半減期は平均寿命の 0.69 倍、平均寿命は半減期の 1.45 倍  
であるから 10 分後は、初期内の  $\frac{1}{2}$  が半分に減らしてある。

$$\text{人口の平均寿命 } 10 \text{ 分} \times 1.45 = 14.5 \text{ 分} = 2 \text{ 歳}$$

陰山町の人口は年々減少傾向、巨大化した 30 年後は 6.0。

1 分あたり 10% の人が 5 歳の割合。

50% の人が 5 歳以下の割合。平均寿命は 11.5 歳。

$$0.9 = e^{-\alpha \times 1 \text{ 分}}$$

$$\alpha \times 1 \text{ 分} = 0.1 \quad (\text{参考の指數的表})$$

$$\text{半減期 } T_h = \frac{0.69}{\alpha} = 6.9 \text{ 分}$$

$$\text{平均寿命 } T_m = \frac{1}{\alpha} = 10 \text{ 分}$$

# 炭素 14 の半減期

(1) 炭素 14 は 放射性炭素ともいわれ、半減期は 5,730 年 である。

(2) 大気中に含まれる炭素 14 の割合は一定であり、生きている生物も炭素 14 の割合は 大気中の割合と同じである。

(3) 生物が死ぬと炭素 14 の供給がなくなり、崩壊だけが続くので、死んだ植物の炭素 14 の割合を調べることで死んでからの年数を推定できる。

(問 1) ある木棺の炭素 14 の割合を調べたら、75% に減っていた。このとき、この木棺の年代は ト = 残存割合 炭素 14 の 1 年で  $\frac{1}{2}$  倍に減少するとして、

この木棺の x 年前のものだとすると、

$$r^x = 0.75 \quad \text{または} \quad t^{5730} = 0.5 \quad \log r = \frac{\log 0.5}{5730}$$

$$x \log r = \log 0.75 - ① \quad 5730 \log r = \log 0.5 - ②$$

$$\begin{aligned} ① - ② \text{ より} \quad x &= \frac{\log 0.75}{\log r} = \frac{\log 0.75}{-\frac{\log 0.5}{5730}} = \frac{\log 0.75 \times 5730}{\log 0.5} \\ &= \frac{5730 \times \log \frac{3}{4}}{\log \frac{1}{2}} = \frac{5730 (\log 3 - 2 \log 2)}{-\log 2} = 5730 \times 0.4150 = 2378 \end{aligned}$$

$$\left( = \frac{5730 \times \log \frac{3}{4}}{\log \frac{1}{2}} = \frac{5730 (\log 3 - 2 \log 2)}{-\log 2} = 5730 \times 0.4150 = 2378 \right) \text{ 年} \rightarrow$$

# 隋 唐

⑦

隋の建元 58/年

2018.12.17  
2018.06.10  
2018.08.13

No. /  
2019.04.15  
Date 2019.06.10  
2020.04.11  
2020.08.10 2020.06.08

隋の文帝 (楊堅) 北周朝の王室の外戚にちたる名門の出、北周を簫奪して王位

律令制 を通じて中央集权の官僚体制をつくり。

科举 (新官僚の養成、人材の選抜) の開始 ... 新官僚の養成  
科選制の選舉 ... 教部門に分けて才能のある人材を選別

均田制 (官家の土地占有制) 私民 → 公民

官家の税負担者を把握

租庸调制度

府兵制 (徴兵制)

斜線の部分は、内部の干渉を防ぐ  
外部の敵を倒す。

太陽帝 - 暴君

守成の部分は、内部の敵を倒す  
ことである。

近年、始皇帝の再評価が行われていると同様、太陽帝の評価も  
見直されてきている

王朝の歴史記者からみると、次の王朝の時代で万能。

自ら王朝を正当化し、美化したりし。前半は惠帝、暴君とされた時代  
からある。

大運河造成は、統一王朝の実力を示すため、江南、農倉地帯と  
北方を結ぶために必然的理由がある。

大運河開拓、南北の政治的統一化、經濟的統一化

確かに唐初期はこの地域の行政権限と輸送手段から、比較的  
命脈を握り得たが、この南北を結ぶ大運河は経済基盤の形態。

景君煥帝

No.

J

Date

皇  
煥帝名广，是日天下地震。

開通汴渠、自長安西苑、引洛水入于河、引河入汴、引汴入泗、  
以达于淮。又發民、開邗溝入江、旁樹以柳。自長安至江都。

置萬宮四十余下。江都是江蘇省江都縣。

而或如洛陽、或如（如=即）江都、或北巡至榆林·金河、  
或如五原、達長城。

大運河の造成は、流一元朝の漢を別にせん、江南の穀倉地帯と  
北方を結ぶといふ（此の理由を問うて）、この運河によて、南北古  
政治的に統一され、經濟的に統一された

(7)

## 如是佈聞へ 本法之始末記

本法は本朝の様の如きの如き  
かく、近頃の阿難が本法の  
ことを語りてゐる

親達の死の直後 木の弟子 大迦葉も  
桶を用ひて 10弟子を集め、親達の言葉を  
大迦葉の阿難に語らせた。

是れ何れか、"如是経"と謂ふ也

## 草不輕菩薩 十二

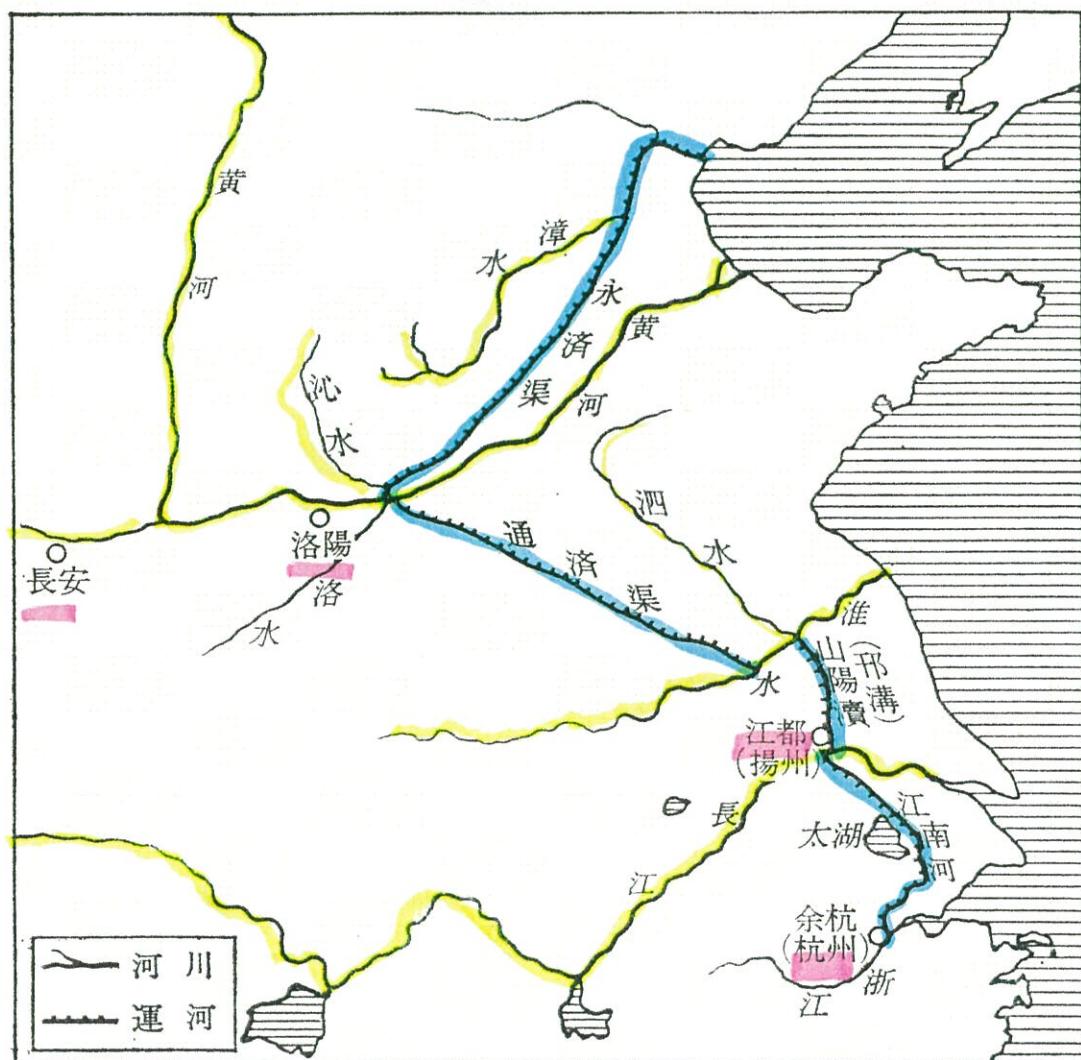
尔叶有一菩薩，名草不輕。以何因緣，  
名草不輕

彼は、如來釋迦、"我、本來本山から萬乞利  
達比經を傳へし者ありまじ。吾故本山傳山達比  
と云ひ。こう考へれば..."

隋  
唐

(2) -2

隋の運河



# 隋朝对外关系

No. 1-2  
Date . . .

公元610年 隋炀帝派军队到琉球(台湾)进行访问。

当地民众看见船舰以为高船，纷纷前来做买卖。从此后，大陆人民不断前往台湾定居。

隋与日本关系比较密切，593年，日本推古女王即位圣德太子摄政。圣德太子渴望从中国引进文化，推进政治改革，于600年遣使到长安，隋文帝接见了日本来使。后来，日本又三次派使者到中国。

608年，隋炀帝派裴世清出使日本，日本举行了盛大的欢迎仪式，几百人列队鸣鼓吹号，推古女王亲自出见。后来裴世清回国时又举行送别宴会。日本还派留学生来长安学习，中国的衣冠文物开始大量传入日本。



18.隋与日本关系比较密切，593年，日本推古女王即位，圣德太子摄政。圣德太子渴望从中国引进文化，推进政治改革，于600年遣使到长安，隋文帝接见了日本来使。后来，日本又三次派使者到中国。



19.608年，隋炀帝派裴世清出使日本，日本举行了盛大的欢迎仪式，几百人列队鸣鼓吹号，推古女王亲自出见。后来裴世清回国时，又举行送别宴会。日本还派了留学生来长安学习，中国人的衣冠文物开始大量传入日本。

# 天下統一

南北朝分裂 270年の歴史時代

文帝即位九年、平陳天下统一。

（参考）

邓小平周恩来陳云の助言を受入れられながら、鄧は毛の圧力に屈していたが、失脚するきっかけとなりうる。

毛脚す先づ小人へいたがう。左側邓小平1975年に癌発病、毛から距離をとらされた。  
77年に復活したときに、鄧は大きな戦略的余地を手に入れられた。

1975年 邓小平の工度目、失脚のとき、

断固として鄧を支持せん四人、胡耀邦、万里、周榮金、張俊萍と共に攻撃された。

毛は鄧に問題的としたが、邓小平と対策に交渉できる政治家は鄧以外に割合ない。

毛江澤一大統領の訪中準備に来れたマクシンジャーに送り金印を付けて。

毛口はマニラ、穀物や近代化設備・技術をこれまでに譲り渡している。

第二次世界大戦終結後ヒトラーは第二次世界大戦の経験は有り、ヒトラーの初期の

拡張は英仏の強大な対抗によって止めたが、ヒトラー下勢力を拡げし西側を攻撃した。

強大化する中国の脅威、穀物と技術、生産力を危険性と見て毛は不理解していないかと批判した。

会話を終えた後、二人で一体「金剛山の指導者邓小平」と結論づけた。

1975年以降邓小平は中国の経済、科学、技術、文化の長期発展計画、四人組閣三四年批判などを連続七度開いた。人材育成、教育、技術革新等を実現していくところである。

1977年以後は政治家として現れ、その後の政治権力も掌握していった。

邓小平 エジン・F・マーティン

## 阿倍仲麻吕和吉备真备

唐代，日本为了吸收大陆的先进文明，加速其本门的建设和强化，巩固中央集权的统治，曾一次又一次地派遣使节到中国，这就是历史上有名的遣唐使。从630年到894年的期间，一共有15次的遣唐使。每次他们学习和吸收的中国先进文明。但是时间较短只有半年左右，所以日本在每次遣唐使派遣同时，另派若干名留学生和学问僧随行，专门到中国学习。他们留在中国的时间，较遣唐使要长。所以一般都能学到不少中国的先进文明。他们的回国移植到日本，使唐代的灿烂文明，也能在日本开花结果。

# 隋 唐

7

関連年表

紀元	事項	備考
581	楊堅（文帝）即位、国号を隋と定む。北周、滅ぶ。	
587	科挙の制施行。	
589	南朝の陳滅び、天下統一。	
604	太子廣（煬帝）、父の文帝を弑して立つ。	
605	通濟渠・邗溝を開く。	
608	永濟渠を開く。	
610	大運河完成。	
611	高麗遠征。この年より三年三次にわたる。	
613	楊玄感、反乱す。	
616	李淵、太原の留守となる。煬帝、江都に行く。	
617	李淵、長安に入り、恭帝を立つ。	
618	宇文化及、煬帝を弑す。李淵、唐をおこし、即位。	天山南路へライド入り (ナラムニ等のギリシャ文化)
624	唐、群雄を平定す。均田の法・租庸調の法を定む。	629玄奘、春を出発 645年1月1日
626	玄武門の変。太宗即位。貞觀の治はじまる。	杜如晦没(630)。
637	貞觀律令公布。	
643	太子承乾、廢され、晉王治、太子となる。	魏徵没(643)。
649	太宗没、高宗即位。	玄奘、印度より帰る。
654	高宗、太宗の才人武氏を昭儀とす。	日本、大化改新(645)。
655	武氏、皇后となる。	房玄齡、孔穎達没(648)。
656	太子忠を廃し、武后の子代王弘を立つ。	
660	この年より武后、政務を執る。	褚遂良没(658)。
664	政治の実権、武后に帰す。	
674	帝を天皇、后を天后と称す。	李勣没(669)。
680	太子賢を廃し、英王哲を太子とす。	
683	高宗没。	
684	武后、太子賢を殺す。李敬業、兵を揚州に起こす。	
688	武后、大いに唐の宗室を殺す。	
689	武后、自らを曌と名づく。	
690	武后、国号を周と改め、帝を称す。	
704	張柬之、宰相となる。	

705	張柬之ら、挙兵。中宗復位。武后没。	
710	皇后韋氏、中宗を毒殺し溫王重茂を立つ。 隆基(玄宗)、韋氏を誅して睿宗を立つ。	
712	玄宗、即位。	
713	太平公主に死を賜う。高力士、右監門將軍となる。	
716	姚崇にかわって宋璟が宰相となる。	
726	この年、戸数706万、人口4142万。	姚崇没(721)。
734	李林甫、宰相となる。	
736	安禄山、奚・契丹に敗る。	宋璟没(737)。
740	楊玉環(後の楊貴妃)、玄宗の後宮に入る。	張九齡没(740)。
742	安禄山、平盧の節度使となる。	
744	安禄山、范陽の節度使を兼ね。	
745	楊太真、貴妃となる。	
747	安禄山、御史大夫を兼ね。	
750	楊釗、名を國忠と賜う。	
751	安禄山、河東の節度使を兼ね。	
752	李林甫没し、楊國忠、宰相となる。	
755	安禄山、反す。	
756	安禄山、大燕皇帝と称す。 玄宗、蜀に向かい、途中、馬嵬にて楊貴妃、楊國忠ら殺さる。	
757	太子璵、即位(肅宗)。玄宗、上皇となる。 安禄山、その子安慶緒に殺さる。	
762	上皇(玄宗)、肅宗、あいついで没す。	李白没(762)。
763	李懷仙、史朝義を殺し、安史の乱終わる。 河北三鎮の成立。	杜甫没(770)。
774	盧龍節度使の朱泚、入朝す。	
780	楊炎の献議によって兩稅法を行なう。	楊綰没(777)。
798	吳少誠、反す。	
805	德宗没。順宗、即位八カ月で退位。憲宗即位。	最澄、帰国す(805)。 空海、帰国す(806)。
807	武元衡・李吉甫、相となる。	
808	牛僧孺・李宗閔、用いられ党禍の因となる。	
815	裴度、相となる。	
826	宦官劉克明、敬宗を弑す。	韓愈没(824)。
828	劉蕡、宦官の專横を論ず。	

関連年表

835	甘露の変起る。	
840	武宗、即位。李徳裕、宰相となる。	
845	武宗、全国の仏寺を破壊。	
847	牛僧孺没し、李徳裕失脚して、牛李の党争終わる。	
869	朱邪赤心、李国昌という姓名を賜わり、大同軍の節度使となる。	
873	懿宗没し、僖宗十二歳で即位。	
875	王仙芝、反乱し、黄巢、これに呼応す。	
878	李克用、留後となる。王仙芝、敗れて死す。	
880	黄巢、長安に入り、大齊皇帝と自称。	
882	朱温、朝廷に降り、名を全忠と賜う。	
883	李克用、黄巢を破り、長安を復す。	
895	董昌、帝を称す。錢鏗、董昌を討つ。	
903	朱全忠、大いに宦官を誅す。	
904	朱全忠、帝を殺し、太子柷を立つ。	
907	朱全忠、哀帝を廢して帝を称す（後梁の太祖）。唐、滅ぶ。	
908	李克用没し、子の存勗立つ。	
912	後梁の友珪、父太祖を弑して立つ。	
913	友珪誅され、友貞（後梁の末帝）立つ。	
916	契丹の阿保機、帝を称す。	
923	晋、唐（後唐）と改称。後梁の末帝、唐に敗れて自殺し、後梁滅ぶ。	
926	後唐の莊宗、弑せらる。	
933	後唐の明宗没。	
936	石敬瑭、契丹に幽燕十六州を割譲。	
942	後晋の高祖石敬瑭没。	
946	後晋、滅ぶ。	
947	劉知遠、帝位につき、国号を漢とす。	
950	郭威、自立し、後漢滅ぶ。	
951	郭威（後周の太祖）、帝を称す。	
956	趙匡胤に命じ、南唐を襲い滁州を取る。	
958	南唐、江北の地を献じ、帝号を去る。	
959	世宗没し、子の宗訓（恭帝）立つ。	
960	趙匡胤、恭帝を廢して帝位につく。後周、滅ぶ。	